

しろの^{おか}丘に宝^{とう}金塔があります。土地の人は「ホーキント山」と呼んでい
ます。

⑨日吉神社（かぶうち）

むかし山王大ごんげんといいましたが明治5年に日吉とあらためら
れました。神^{しん}殿^{でん}は天^{てん}保^{ぽう}11年（1840）に建^たてられ、宮^{みや}大^{だい}工^{こう}が1年^{いじょう}以上か
かってほどこしたちょうこくは美^び術^{じゆつ}的^{てき}に大^{だい}切^{けつ}なものです。

⑩ます形^{がた}こふんぐん（とちもと）

かぶうちから釜^{かま}子、とちもとのいばらぎ街^{かい}道^{どう}へ入^いってまもなく左^{ひだり}手
にあります。ぜん方^{ほう}こう円^{えん}ふん、じょう円^{えん}か方^{ほう}ふんなど17のつかがあ
ります。

⑪かまの子じんやあと（かまの子）

長^{ちやう}伝^{でん}寺^じの石^{いし}だんを三^み島^{しま}やの方^{かた}におりて、左^{ひだり}へ折^まれるとあん内^{ない}板^{ばん}があ
ります。釜^{かま}子^ご地^ち方^{ほう}はかん^{かん}ぽう元^{げん}年^{ねん}（1741）からやく130年^{ねん}かん、えちご
（にいがたけん）高^{たか}田^だは^はの領^{りやう}地^ちでした。文^{ぶん}化^か6年（1809）あさ川^{あさがわ}より
釜^{かま}子^ごにじんやをうつし、奉^{ほう}行^{ぎやう}い^いか50すう名^なの^{めい}はん^{はん}士^しが3万^{まん}3千^{せん}石^{ごく}の領^{りやう}
地^ちを^し支^し配^{はい}したのです。明^{めい}治^ち元^{げん}年^{ねん}（1868）ぼしんのえきに官^{かん}軍^{ぐん}の^{こう}げ
きにあい6月^{じつ}25日^{にち}やけてらく陣^{じん}しました。明^{めい}治^ち4年（1871）のはいは
んちけんまで60年のじんやのあったあとです。

⑫矢^やごしの森（かまのこ）

矢^やごし神社のあるところす。むかし、みなもとのよしいえがあべ
のさだとうをせめた時、じんが平^{へい}に陣^{じん}をおきました。ある時、弓^{ゆみ}のい
きおいをためそうと東^{とう}南^{なん}にむかって矢^やをはなちました。その矢^やをさが
したところ、この近^{ちか}くのほこらの前^{まへ}でみつけたのでこのふきを矢^やご
し山とよぶようになったのです。

○まつりのこと

- チャッチャラッコ太^{たい}こ